



チーム一丸となって勝利をつかむ 志賀高 射撃部、躍進



射撃部

県高校総体・総文

平成8年度石川県高等学校総合体育大会・総合文化祭が県内各会場にて開催されました。志賀高レスリング部と射撃部は、伝統の力を発揮し、合計18名が全国大会に出場が決まりました。

- 【団体種目】
- ・男子チームライフル 優勝
(堀辺暖人、磯悠司、宮澤遼)
 - ・女子チームライフル 優勝 (志田つむぎ 平野優香里 山中美莉亜)
- 【個人種目】
- ・男子チームライフル 第1位 磯、第2位 宮澤、第3位 堀辺
 - ・女子チームライフル 第1位 志田、第2位 山中、第5位 平野
 - ・男子エアライフル 第3位 平野優貴、第4位 宮澤悠
 - ・女子エアライフル 第1位 稲畑優希恵
- 【総合結果】男子、女子 優勝

卓球部

ソフトテニス部



美術部



志賀高、会場に大きな声援が、とぶ



陸上競技部

茶道部



卓球部個人戦ダブルス、東・岩端、シングルス東、藤本、尾崎が1回戦突破。全員が力を出し切る。ソフトテニス部個人戦、渡辺・狭間、陸上ハンマー投げ、濱森、出場。多くのことを学び、次につなげる。
美術部9名、金沢21世紀美術館に展示。
茶道部8名、アステラス(宝達志水町)にて 凜としたパフォーマンス。

栄光の数より、その道のりが志賀高レスリング部をつくる 目指すは、日本一



レスリング部

個人男子

- | | | |
|--------|----|--------|
| 51キロ級 | 2位 | 岡田 蓮 |
| 55キロ級 | 2位 | 齋藤 銀二 |
| 60キロ級 | 1位 | 菊池 應志 |
| 65キロ級 | 1位 | 佐藤 聖蓮 |
| 71キロ級 | 1位 | 横瀬 悠生 |
| 92キロ級 | 1位 | 長根尾 理玖 |
| 125キロ級 | 1位 | 高橋 龍雅 |
| 個人女子 | | |
| 53キロ級 | 1位 | 永谷 梨愛 |
| 学校対抗戦 | 優勝 | |

【後輩へメッセージ】"大切なのはチャレンジ"
練習量はどの高校にも負けていないので、自信を持って強い相手でも怖がらず、どのくらい通用するか楽しんで！



レスリング部OG
岡田愛生さん
(教育実習にて)

『能登の海に私たちの声が流れる』 遊覧船の音声ガイドに参加

本校ビジネス・福祉コースの3年生13人が、巖門や能登金剛の魅力や地震からの復興の様子を伝えようと、約3ヶ月かけて取材を行い遊覧船の音声ガイドを完成。県・世界農業遺産活用実行委員会の「未来の仕事プロジェクト」の一環であり、4月17日、実際に乗船して出来映えを確認した。



中谷瑞輝さんが生徒を代表して「観光客が増えたらうれしい。どんどん協力していきたい。」と意気込みを語っていた。

遊覧船の運行時、毎日13時
(希望すれば他の時間も)放送



「総合的な探究の時間」

志賀探『みらい図』

対話が弾む教室へ！

「コンパスRoom」をリニューアル



3年生社会人講座 6/11 「探究活動を通してキャリアデザインを描く」



「相手の心を動かす」言葉で！
志賀ロータリークラブの皆さんをお招きし、自身の探究活動を報告しました。

☆☆ 探究活動紹介 ☆☆



志賀町で
カフェを
開こう！



高齢者推し活
応援プロジェクト

「24時間『能登復興支援』事務局」様よりご寄付をいただき、グループワーク用の机・イスをそろえることができました。志賀探『みらい図』の拠点として、大切に活用させていただきます！

“思うは招く” 植松努氏 講演会 (『下町ロケット』の植松電機社長)

わいわい、がやがや
立って、見て、聞いて
助け合って作ります。



6月15日 志賀ロータリークラブ協力のもと、植松社長の講演会とロケット体験教室が志賀高体育館・グラウンドで開かれました。講演会では自身がロケット開発を実現していく体験を通して、「どうせ、無理」じゃない、夢を語り続け、人とつながり、未来がつくられていくことを教えてくださいました。(能登ツナグ未来応援プロジェクト主催)

「どうせ、無理」じゃない、夢を語り、
人とつながり、可能性に挑戦！

全員が一機ずつ作って飛ばすことに成功、
初期の日本のロケットより性能が良いそうです。すごい『飛べ！夢と自信を乗せて』





自然を満喫
春の遠足

4/28



2年 アリス館志賀



1年 いこいの村
「能登半島」



3年
大島キャンプ場



体育祭

5/8

ひびく声援
はずむ笑顔



学年を越えて
絆がふかまる
(赤団・青団・黄団)



準備・運営に活躍する生徒会

スクールランチ風景



栄養バランスが良く、温かい食事を志賀町の支援を受けて、1食あたり300円の低価格で提供しています。現在、8割以上の生徒が利用しています。

レスリング部1年の菊池さんは「給食のおかげで部活を頑張れる。美味しいし、コスパも良い。」と絶賛しています。

清掃ボランティアに参加

海岸清掃 6/5



通学路清掃 5/25

きれいにする！

『元気に頑張っています』（はまなす園）

昨年度卒業生 山本煌輝さん

私は志賀高福祉コースを卒業して、はまなす園（特別養護老人ホーム）に務めています。利用者さんの食事や入浴・トイレなどの生活介助、レクリエーション補助などを行っています。

「出来ることはやってもらって、出来ない部分を支える。自分の業務だけを考えるのではなく、その人が望むことを考える。」などを先輩から教わり、ゆっくり成長してきていることを実感し、充実した日々を送っています。もちろん高校時代の福祉コースの授業が基盤となっています。（本人談）



後輩へのアドバイス

あやふやな気持ちで就職しない。
続けるために前もってよく考える。

在学中は、射撃部・生徒会で活躍
（はまなす園にて撮影）

進路実現に向けて

進路ガイダンス（2・3年）6/17



大学の模擬授業



専門学校の模擬授業

北陸地区の5つの大学・短大、県内の10校の専門学校、企業3社・自衛隊が参加。進学希望者は模擬授業、就職希望者はブース毎での企業説明を受け、進路意識を高めました。

3年生は、放課後学習に加えて、進学希望者も就職希望者も、志望に応じて各教員との個別指導が本格的に始まります。

「志賀高だより」発行100回を迎えて



令和7年度の「志賀校だより」（来賓玄関に掲示）

前回号で発行100回を数えました。第5代花島由喜夫校長が、生徒募集のため、志賀高校のことや生徒の活躍を各中学校や近隣地域に伝えようと、自らが広報（ポスター）を作りました。これが元となり、志賀高だよりへと発展して、現在に至っています。

いろいろなことがありました。コロナ禍や震災が起きました。志賀高だよりでは、生徒の様子を伝え続け、生徒の絆や勇気となりました。



コロナ禍、明るく学校生活をスタートしてほしいと美術の垣内誠一先生が作成したポスターを紹介（志賀校だより35号）



震災の後、志っ賀りサポート隊の活動を伝える（志賀校だより84号）

編集後記



写真は石川県が開発したフリージアの一種“エアリーフロラ”です。

富来地頭の花・米農家、濱谷清一さんは令和6年3月に咲いたエアリーフロラを「花を見て、いやな思いをする人はいない。」の信念のもと、被災者が集まる役場の避難所に運びました。ボランティアに県外から参加した人は「また、来年の今頃、エアリーフロラの香りを楽しむため、ここに戻って来ます。」と言って帰っていったそうです。

エアリーフロラの花言葉は“希望”です。志賀高校も“希望”が届けることができる学校でありたいと願っています。